

知事「大きな節目」

女川原発 避難計画、国が了承

政府が東北電力女川原発(女川町、石巻市)で事故が発生した際の住民避難計画を了承したことを受け、村井嘉浩知事は22日の定例会見で「大きな節目を迎えた」と述べた。東北

がある」としながらも「現時点では(計画に)合理性がある」という評価を得られた」と語った。政府の原子力防災会議の後に、小泉進次郎原子力防災担当相から連絡があったことも明らかにした。

一方、避難計画に実効性がないとして、石巻市民が県と市に再稼働の同意差し止めを求め、仮処分を申し立てていることについては、「国の決められたルールに従って(手続きを)進める」と述べた。

【滝沢一誠】

電が目指す再稼働に向けた手続きが一歩進んだ形で、今後は地元自治体の同意が得られるかが焦点となる。村井知事は「さらに訓練を積み重ねながら問題点を洗い出す必要